

大阪大学大学院情報科学研究科・読売テレビ・神戸市連携
神戸市須磨区総合防災訓練にて AI 防災実証実験を実施
【2/15(日)10時～@神戸市須磨区役所】

❖ 概要

大阪大学大学院情報科学研究科・モバイルコンピューティング講座(山口弘純研究室)は、神戸市危機管理局との連携により避難誘導アプリ『**しるべ AI**』を開発しました。(ブライテクノロジー株式会社と共同開発)

このAIを用いたAI防災実証実験を2月15日(日)10時から神戸市須磨区役所にて行われる神戸市須磨区総合防災訓練で実施します。

しるべ AI は周辺の被災状況を予測・解析し、高齢者やお子さん連れといった属性も考慮して、災害時の安全な避難行動を、現在位置に応じてリアルタイムに指示を行う避難誘導アプリです。

神戸市須磨区総合防災訓練で実際に使用することで、取得する実際の避難行動データをもとに、AI防災技術が現実の避難においてどの程度役立つか、また市民に受け入れられる仕組みとなり得るかを検証します。

その他、読売テレビとの連携により開発した、「テレビ放送」と「神戸市の防災・生活情報」を自動で連携させるフェーズフリー^{*1}AIエージェント『**ジャスト・ミーTV**^{*2}』と、株式会社HULIXと共同開発した、AIにより避難所の混雑状況や収容人数をリアルタイムで把握する**避難所状況把握 AI**『**シェルタ AI**^{*3}』も実際に動作させます。

当日は、取材いただけるメディアの方に、システムの動作や避難支援の様子を撮影いただけるスペースも準備しておりますので積極的なご取材をお願いいたします。

❖ 「神戸市須磨区総合防災訓練」概要

※詳細は神戸市役所 HP をご確認ください

<https://www.city.kobe.lg.jp/i73375/459716515507.html>

【日時】 2026年2月15日(日) 10:00～12:00 (9:30 開場)

【場所】 神戸市須磨区役所4階 多目的会議室

【内容(予定)】有識者講演(関西学院大学人間福祉学部 頼政良太助教)



避難誘導アプリ『しるべ AI』

ペット同行避難講演(神戸市健康局)

AIによる避難行動のサポート(大阪大学大学院情報科学研究科)

読売テレビによる防災に関する展示(読売テレビ放送株式会社)

高校生が考える避難所運営(須磨区内の神戸市立高等学校を予定) 等

❖ 特記事項

本研究は科学技術機構(JST)戦略的創造研究推進事業(CREST)「基礎理論とシステム基盤技術の融合による Society 5.0 のための基盤ソフトウェアの創出」領域課題「地域を支える知のデジタルイノベーションと共有基盤」(研究代表:大阪大学大学院情報科学研究科 山口弘純教授)の支援を受けたものです。

❖ 用語の説明

※1 フェーズフリー

日常時と災害時を分けず、普段から使っている製品やサービスを、そのまま非常時にも役立てるという考え方。日常生活の中に防災機能を組み込み、継続的に備えることを目指す。

※2 ジャスト・ミーTV

ニュース番組などの音声をAIが自動解析し、住んでいる地域や家族構成に応じて、本当に必要な情報だけをテレビやスマートフォンへ“自分ごと”として通知を行うAI。平常時は生活情報を、災害時は在宅避難者への支援情報などをきめ細かく届け、市民の安心・安全な暮らしのサポートを目指す。

※3 シェルタAI

LiDARという光学センサを用い、カメラなどを使わずに人の位置や活動を匿名で捉えて可視化するAI。プライバシー保護をしながら、避難所の人数や活動状況を正確かつリアルタイムに把握する。